

2024年3月期 第3四半期

決算説明資料

2024年2月14日



証券コード
6638



UJV100-160Plus

UJV100-160Plus

Mimaki

Celebrate
design Holi!

Mimaki

JF-X600-2513

TXF150-75

Mimaki

TXF150-75

Mimaki

3DUJ-2207

3DUJ-2207

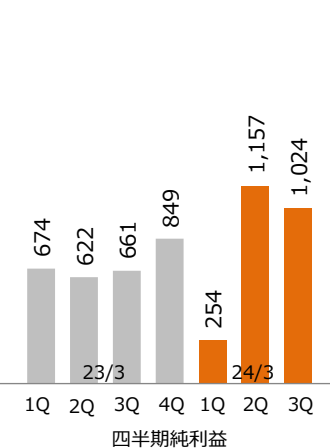
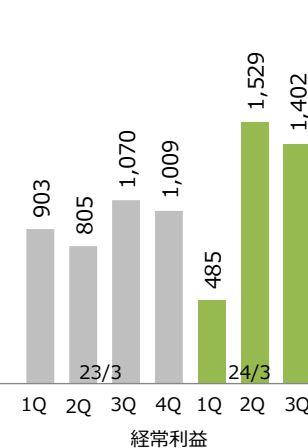
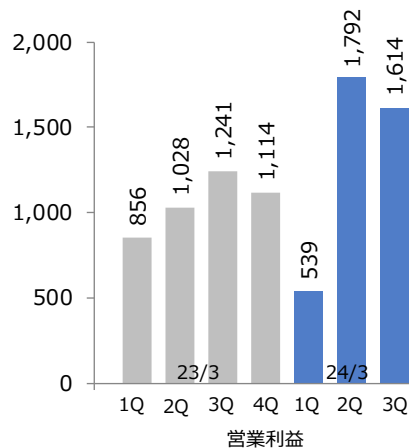
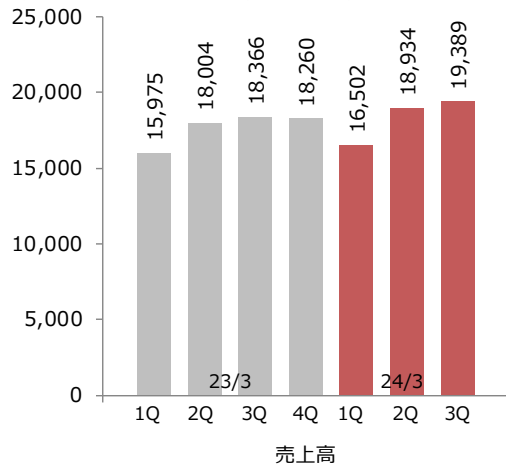
2024年3月期 連結業績

- ❖ 第3四半期実績
- ❖ 2024年3月期 通期予想

連結業績ハイライト (2024年3月期 3Q実績)



(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期					
	3Q実績	売上高 比率	3Q実績	売上高 比率	前年同期比増減			
					金額	率	率(除為替)	
■ 売上高	18,366	-	19,389	-	+1,022	+5.6%	+1.9%	
■ 営業利益	1,241	6.8%	1,614	8.3%	+373	+30.1%	-	
■ 経常利益	1,070	5.8%	1,402	7.2%	+332	+31.1%	-	
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	661	3.6%	1,024	5.3%	+363	+55.0%	-	
為替レート	米ドル	141.64円	-	147.89円	-	+6.25円	+4.4%	-
(期中平均)	ユーロ	144.35円	-	159.10円	-	+14.75円	+10.2%	-



連結業績のポイント (2024年3月期 3Q)



■ 3Q売上高

- 前年同期比 1,022百万円の増収(+6%、内為替影響 +677百万円)、社内計画若干未達
- 2Qに引き続き、各エリアでミニ展戦略の積極展開や個別商談の着実な獲得・クロージングに取り組んだ
- アジア・オセアニア及び日本が好調に販売を伸ばし、北米も堅調に推移した一方、欧州はウクライナ情勢の長期化や政策金利の高止まり等による景気停滞の影響を受けた
- TAは新製品DTF(Direct to Film)機 TxF150が好調を維持し大幅増収、FAも増収に転じた一方、SGとIPは欧米において高水準な販売であった前年同期と比べ、インクは堅調だったものの本体の販売が減少し減収
- 全社では、為替のプラス影響も加わり増収、為替影響を除いても2四半期連続で増収を確保

■ 3Q営業利益

- 前年同期比 373百万円の増益(+30%、内為替影響 +367百万円)、社内計画並
- 売上原価率が、前期に調達した高コスト部材を使用した製品の販売が継続した一方で、輸送コストの減少や、コスト上昇に対応するための販売価格見直しを進めてきた効果もあり改善。事業活動の活発化に伴い販管費は増加したものの、売上高比率の伸びを抑制。為替の円安効果も加わり、大幅増益

■ 3Q末バランスシート

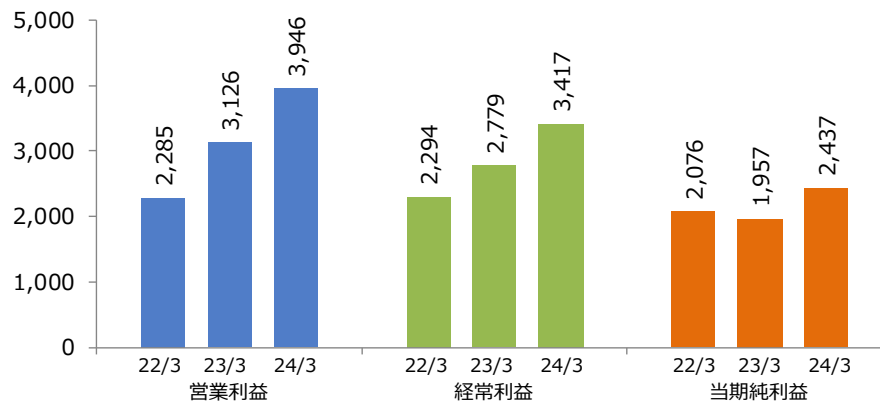
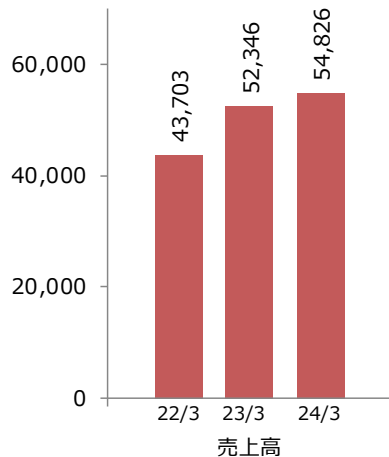
- 重点指標のCCC*は、販売の拡大、売掛債権回収の早期化、在庫削減活動等を進め、前期末比で減少
2022/12/末:4.83月→2023/3/末:5.27月→6/末:6.09月→9/末:5.16月→12/末:4.69月

*CCC : Cash Conversion Cycle

連結業績ハイライト (2024年3月期 3Q累計実績)



(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期					
	3Q累計 実績	売上高 比率	3Q累計 実績	売上高 比率	前年同期比増減			
					金額	率	率(除為替)	
■ 売上高	52,346	-	54,826	-	+2,479	+4.7%	+0.9%	
■ 営業利益	3,126	6.0%	3,946	7.2%	+819	+26.2%	-	
■ 経常利益	2,779	5.3%	3,417	6.2%	+637	+22.9%	-	
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,957	3.7%	2,437	4.4%	+479	+24.5%	-	
為替レート (期中平均)	米ドル	136.53円	-	143.29円	-	+6.76円	+5.0%	-
	ユーロ	140.60円	-	155.28円	-	+14.68円	+10.4%	-



営業利益増減要因 (23/3期 3Q累計 vs 24/3期 3Q累計)



【通貨別影響額】

USD/	136.53円	→	143.29円		+330
EUR/	140.60円	→	155.28円		+820
CNY/	19.88円	→	19.98円		-10
TRY/	7.86円	→	5.74円		-218
BRL/	26.55円	→	29.08円		+98
その他 (AUD、IDR等)					+87
				合計	+1,107

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高 2,019 - 売上原価 455 - 販管費 457 = 営業利益 1,107

【売上原価率増減要因】

前期に調達した高コスト部材を使用した製品の販売が継続したものの、輸送コストの減少や、コスト上昇に対応するための販売価格見直しを進めてきた効果等により改善

【販管費増減の要因】

人件費	+365
支払手数料	+278
研究開発費	+262
旅費交通費	+172
製品補修費	-133
賃借料	+121
その他	+222
合計	+1,288

(単位：百万円)

① 為替影響

② 売上高増減影響

③ 売上原価率増減影響

④ 販管費増減影響

1,107

185

815

-1,288

3,946

売上原価率

59.6%

↓

58.1%

(-1.5pt)

販管费率

34.4%

↓

36.5%

(+2.1pt)

営業利益
(23/3期)

営業利益
(24/3期)

営業利益 +8億19百万円

市場別売上高 (2024年3月期 3Q実績)



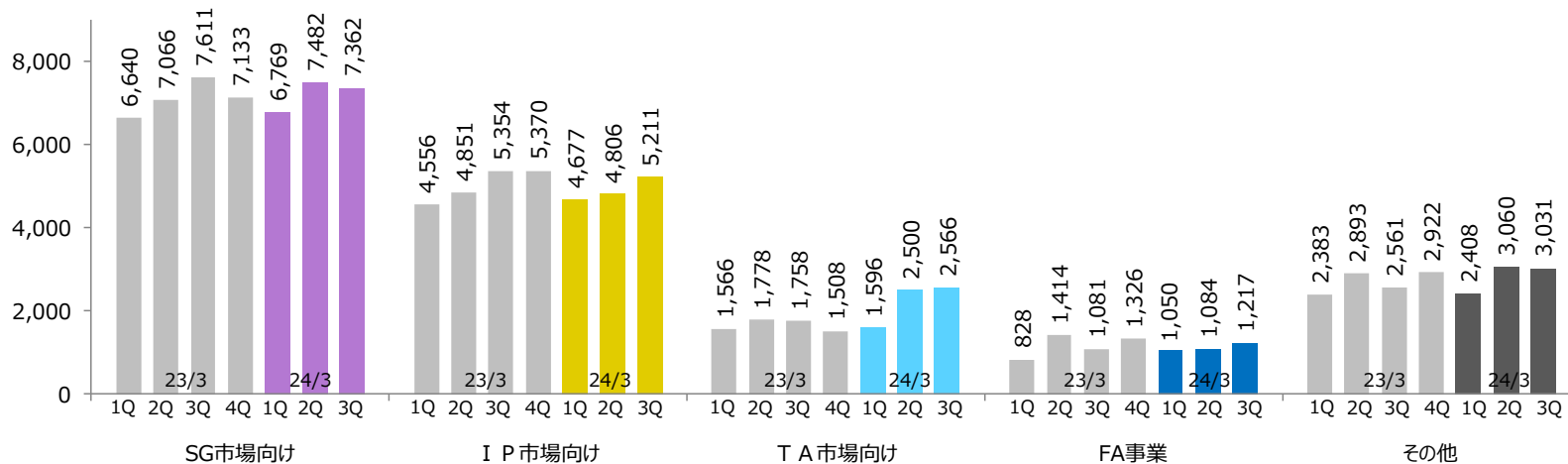
(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期				
	3Q実績	構成比率	3Q実績	前年同期比増減			構成比率
				金額	率	率(除為替)	
■ S G 市場 向け	7,611	41.4%	7,362	-249	-3.3%	-6.9%	38.0%
■ I P 市場 向け	5,354	29.2%	5,211	-142	-2.7%	-6.5%	26.9%
■ T A 市場 向け	1,758	9.6%	2,566	+808	+46.0%	+40.6%	13.2%
■ F A 事業	1,081	5.9%	1,217	+135	+12.6%	+12.1%	6.3%
■ そ の 他	2,561	13.9%	3,031	+470	+18.4%	-	15.6%
合 計	18,366	100.0%	19,389	+1,022	+5.6%	+1.9%	100.0%

- SG市場向け: 本体は、欧米で輸送リードタイムの改善によりバックオーダーの解消が始まり高水準な販売だった前年同期との比較で、フラグシップモデルの販売が増加した一方で既存モデルの販売が減少、インクの堅調な販売や為替のプラス影響はあったものの、減収
- IP市場向け : インクの好調な販売に加え為替のプラス影響はあったものの、小型FB機を中心に、新製品の販売が大幅に拡大した前年同期との比較で減少し、減収
- TA市場向け : 先進国を中心に当期から投入した新製品の好調な販売が継続、インクの販売も好調に推移し、大幅な増収
- FA事業 : 前年同期が需要増により好調だった半導体検査装置や基板検査装置の販売が減少したものの、FA装置、金属加工、基板実装装置の販売が増加し、大幅増収

市場別売上高 (2024年3月期 3Q累計実績)



(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期				
	3Q累計 実績	構成比率	3Q累計 実績	前年同期比増減			構成比率
				金額	率	率(除為替)	
■ S G 市場向け	21,318	40.7%	21,613	+295	+1.4%	-2.9%	39.4%
■ I P 市場向け	14,762	28.2%	14,695	-66	-0.4%	-4.5%	26.8%
■ T A 市場向け	5,103	9.7%	6,663	+1,560	+30.6%	+25.2%	12.2%
■ F A 事業	3,324	6.4%	3,352	+28	+0.8%	+0.7%	6.1%
■ そ の 他	7,837	15.0%	8,500	+662	+8.5%	-	15.5%
合 計	52,346	100.0%	54,826	+2,479	+4.7%	+0.9%	100.0%



エリア別売上高 (2024年3月期 3Q実績)



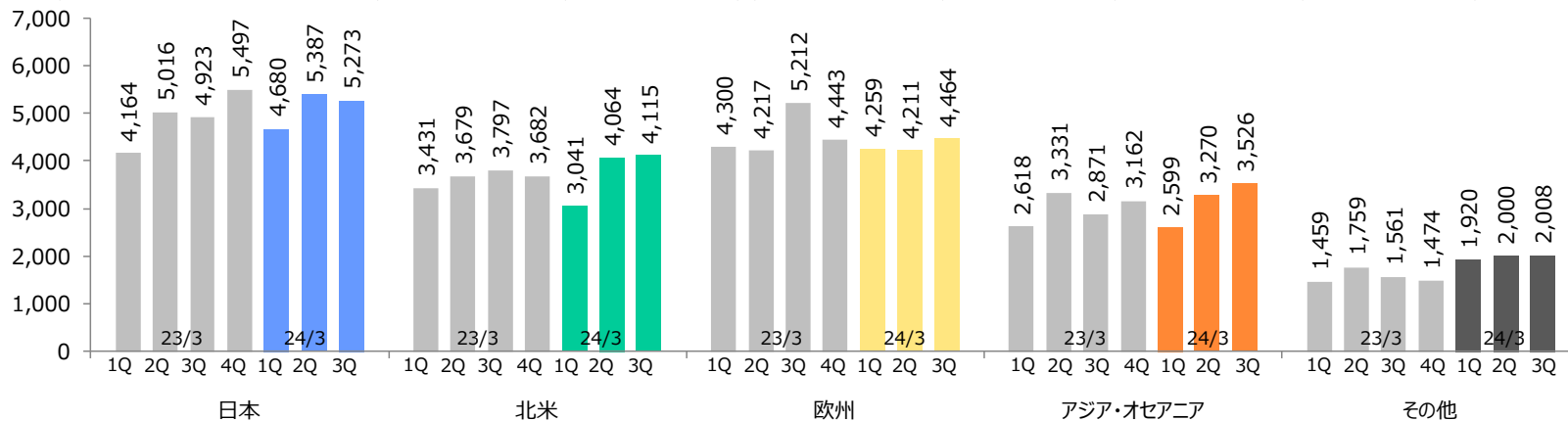
(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期			
	3Q実績	構成比率	3Q実績	前年同期比増減		構成比率
				金額	率	
■ 日本	4,923	26.8%	5,273	+349	+7.1%	27.2%
■ 北米 (現地通貨/\$)	3,797 26.8M	20.7% -	4,115 27.8M	+318 +1.0M	+8.4% +3.8%	21.2% -
■ 欧州 (現地通貨/€)	5,212 36.1M	28.4% -	4,464 28.0M	-747 -8.0M	-14.3% -22.3%	23.0% -
■ アジア・オセアニア	2,871	15.6%	3,526	+655	+22.8%	18.2%
■ その他	1,561	8.5%	2,008	+446	+28.6%	10.4%
合計	18,366	100.0%	19,389	+1,022	+5.6%	100.0%

- 日本：景気拡大が継続する中、SGは販売が減少したもののIP、TAは好調な販売を維持、FAも販売増となり増収
- 北米：個人消費を中心に景気が堅調に推移する中、SGとIPがバックオーダー解消や新製品効果で高水準な販売だった前年同期と比べ減少したものの、TAの販売が大幅に伸長したことに加え、為替のプラス影響もあり増収
- 欧州：為替のプラス影響を受ける中、TAの販売が大幅に増加したものの、SGとIPの販売が減少。国別では、ポルトガル、フランス、ポーランド等が好調だった一方、ドイツ、イタリア、英国などで販売が減少し、全体では減収
- A・O：中国でのコロナ禍影響を大きく受けた前年同期との比較で大幅な販売回復に加え、インド、インドネシア等の経済成長もあり、SG、IP、TAが好調に推移。FAの台湾向け販売が減少したものの、全体では大幅な増収

エリア別売上高 (2024年3月期 3Q累計実績)



(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期			
	3Q累計実績	構成比率	3Q累計実績	前年同期比増減		構成比率
				金額	率	
■ 日本	14,105	26.9%	15,341	+1,236	+8.8%	28.0%
■ 北米 (現地通貨/\$)	10,908	20.8%	11,222	+314	+2.9%	20.5%
	79.8M	-	78.0M	-1.8M	-2.3%	-
■ 欧州 (現地通貨/€)	13,730	26.2%	12,935	-794	-5.8%	23.6%
	97.5M	-	83.3M	-14.1M	-14.5%	-
■ アジア・オセアニア	8,821	16.9%	9,397	+575	+6.5%	17.1%
■ その他	4,780	9.1%	5,929	+1,148	+24.0%	10.8%
合計	52,346	100.0%	54,826	+2,479	+4.7%	100.0%



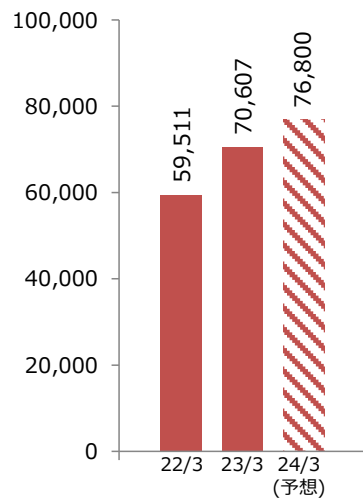
2024年3月期 連結業績

- ❖ 第3四半期実績
- ❖ 2024年3月期 通期予想

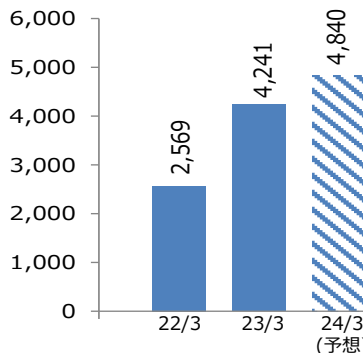
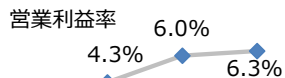
連結業績予想ハイライト (2024年3月期)



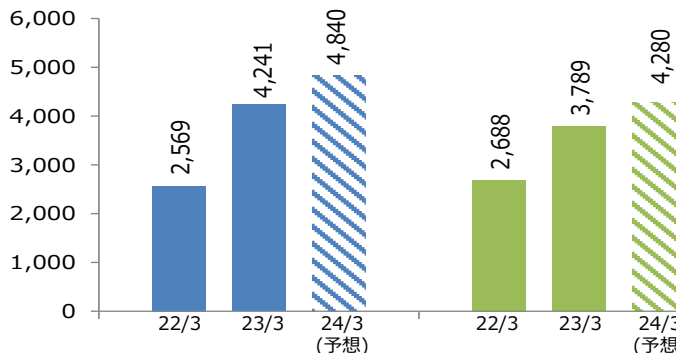
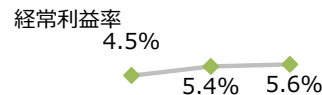
(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期						
	通期実績	売上高 比率	通期予想	売上高 比率	前期比増減			前回予想比 増減額	
					金額	率	率(除為替)		
■ 売上高	70,607	-	76,800	-	+6,192	+8.8%	+6.0%	±0	
■ 営業利益	4,241	6.0%	4,840	6.3%	+598	+14.1%	-	±0	
■ 経常利益	3,789	5.4%	4,280	5.6%	+490	+12.9%	-	±0	
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	2,807	4.0%	3,160	4.1%	+352	+12.6%	-	±0	
為替レート	米ドル	135.48円	-	142.47円	-	+6.99円	+5.2%	-	+1.97円
(期中平均)	ユーロ	140.97円	-	152.71円	-	+11.74円	+8.3%	-	+3.52円



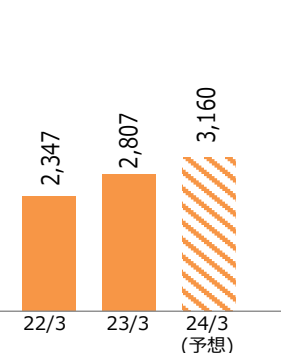
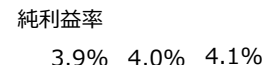
売上高



営業利益



経常利益



当期純利益

■ 連結業績予想の前提

① 売上高

世界的な景気減速や、中東情勢悪化に伴う海上輸送への影響などの懸念は残るものの、4QではTAの新製品が好調な販売を持続する見通しに加え、SG、TAでの新製品立ち上げによる売上高への寄与と、営業活動の強化に引き続き取り組むこと等を踏まえ、通期予想は据え置く

② 営業利益

4Qでは人件費、研究開発費等、今後の成長に向けた投資を継続する一方で、高コスト部材を使用した製品販売の漸減や販売価格見直しを進めてきた効果等による原価率改善見通しを踏まえ、通期予想は据え置く

③ 4Qの為替レート前提は、USD:140円/EUR:145円を据え置く

- 2023年度グループ経営方針「創造する」の下で、売上高を伸ばしつつ2025年度までに営業利益率10%を達成する「Mimaki V10」の目標に向け、引き続き全社をあげて取り組む

営業利益増減要因

(23/3期 実績 vs 24/3期 予想)



【通貨別影響額】

USD	135.48円	→	142.47円	+530
EUR	140.97円	→	152.71円	+1,117
CNY	19.75円	→	19.98円	-36
TRY	7.65円	→	6.21円	-176
BRL	26.28円	→	28.28円	+118
その他 (AUD、IDR等)				+110
			合計	+1,663

<為替感応度 (1円/年)>

	売上高	営業利益
USD	146	72
EUR	128	84

【売上原価率増減の要因】

前期に調達・生産した高コスト部材を使用した製品の販売が進む一方で、輸送コスト減少や販売価格見直し効果等により前期並

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高 2,881 - 売上原価 648 - 販管費 569 = 営業利益 1,663

(単位：百万円)

①為替影響

②売上高増減影響

③売上原価率増減影響

④販管費増減影響

1,663

1,334

-259

-2,139

4,241

売上原価率
59.7%
↓
60.1%
(+0.4pt)

販管费率
34.3%
↓
35.6%
(+1.3pt)

4,840

営業利益
(23/3期)

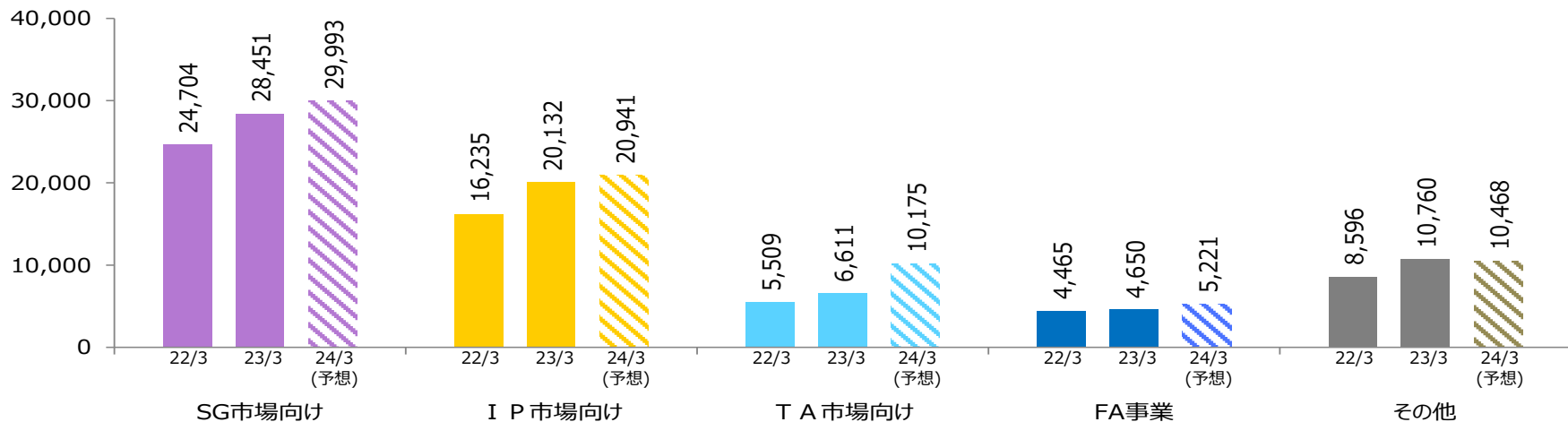
営業利益
(24/3期)

営業利益 + 5億98百万円

市場別売上高予想 (2024年3月期)



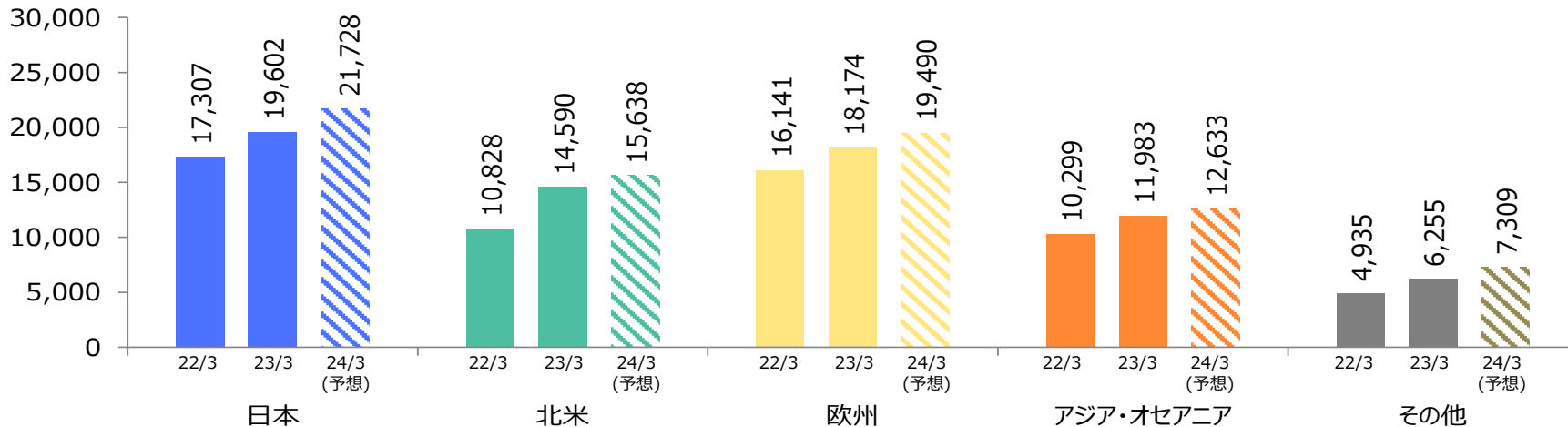
(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期					
	通期実績	構成比率	通期予想	前期比増減			構成比率	前回予想比増減額
				金額	率	率(除為替)		
SG市場向け	28,451	40.3%	29,993	+1,541	+5.4%	+2.3%	39.1%	± 0
IP市場向け	20,132	28.5%	20,941	+809	+4.0%	+1.3%	27.3%	± 0
TA市場向け	6,611	9.4%	10,175	+3,563	+53.9%	+49.3%	13.2%	± 0
FA事業	4,650	6.6%	5,221	+570	+12.3%	+12.3%	6.8%	± 0
その他	10,760	15.2%	10,468	-291	-2.7%	-	13.6%	± 0
合計	70,607	100.0%	76,800	+6,192	+8.8%	+6.0%	100.0%	± 0



エリア別売上高予想 (2024年3月期)



(単位：百万円)	2023年3月期		2024年3月期				
	通期実績	構成比率	通期予想	前期比増減		構成比率	前回予想比増減額
				金額	率		
■ 日本	19,602	27.8%	21,728	+2,125	+10.8%	28.3%	± 0
■ 北米 (現地通貨 / \$)	14,590 107.6M	20.7% -	15,638 111.1M	+1,048 +3.4M	+7.2% +3.2%	20.4% -	± 0 ±0.0M
■ 欧州 (現地通貨 / €)	18,174 128.9M	25.7% -	19,490 131.2M	+1,316 +2.3M	+7.2% +1.8%	25.4% -	± 0 ±0.0M
■ アジア・オセアニア	11,983	17.0%	12,633	+649	+5.4%	16.4%	± 0
■ その他	6,255	8.9%	7,309	+1,053	+16.8%	9.5%	± 0
合計	70,607	100.0%	76,800	+6,192	+8.8%	100.0%	± 0



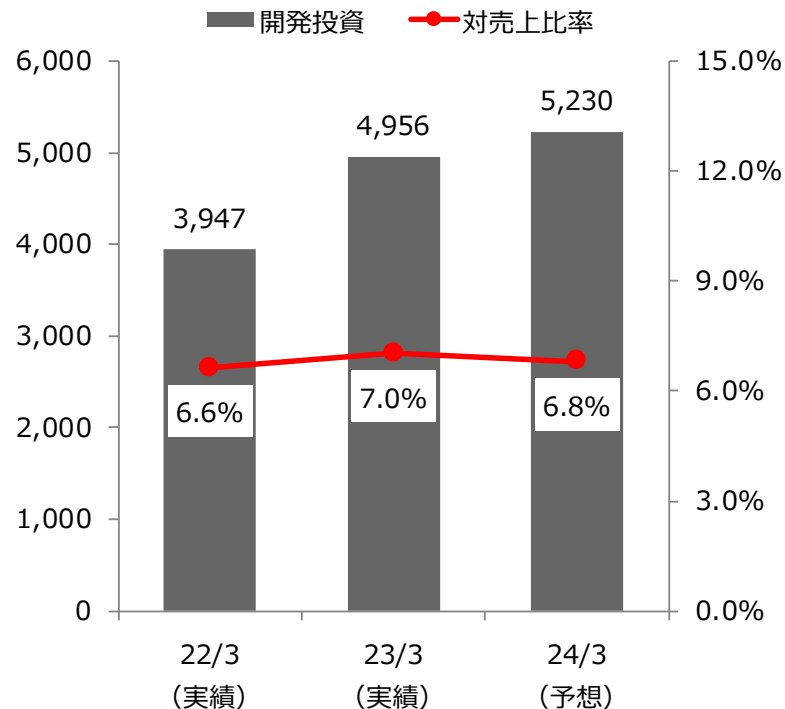
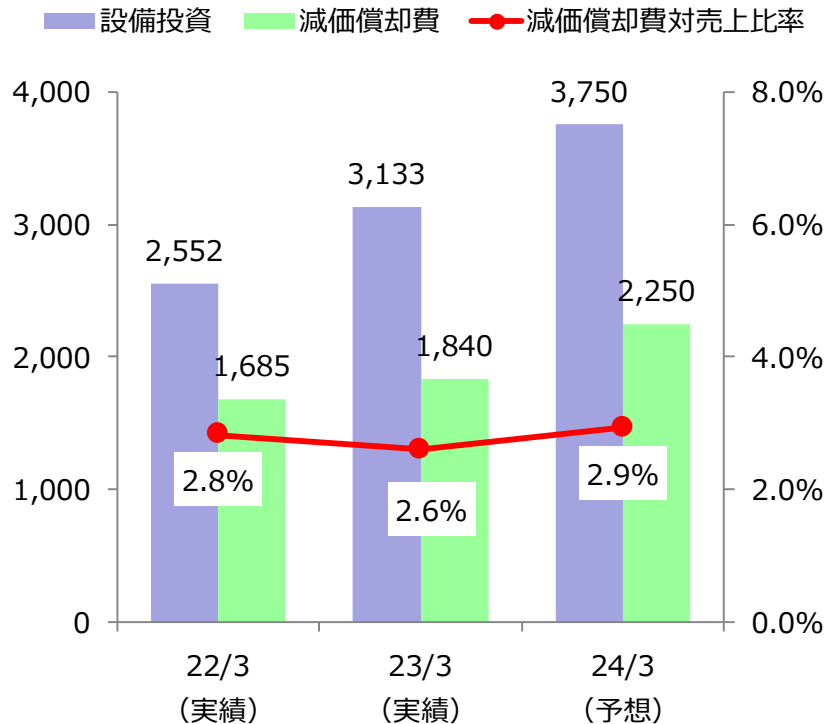
設備投資、減価償却、開発投資予想

(2024年3月期)



(百万円)

(百万円)



※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

株主還元

株主還元の方針

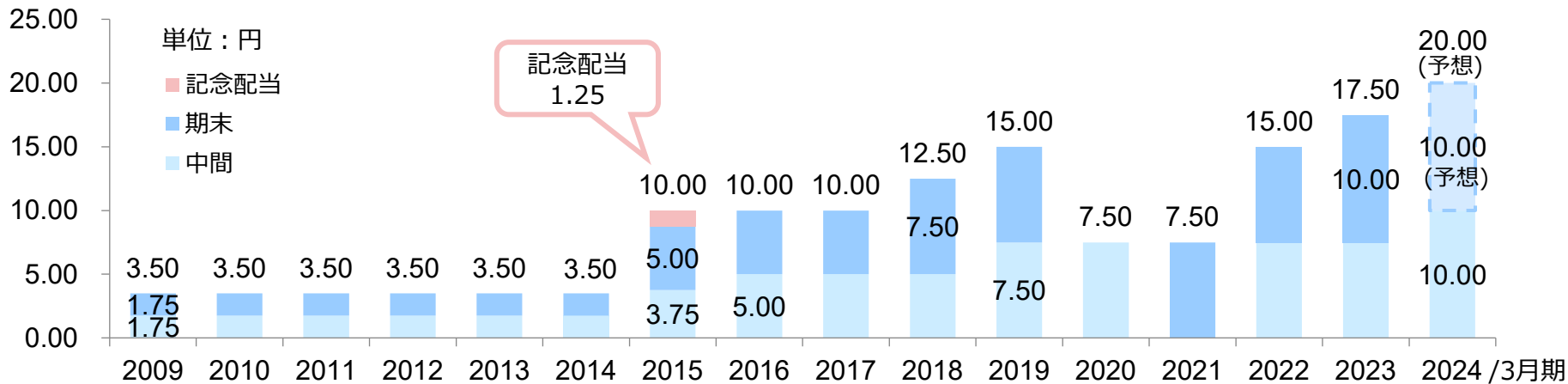
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

■ 2023年3月期 中間：7.5円、 期末：10.0円

業績及び今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、年17.5円に増配

■ 2024年3月期 中間：10.0円、 期末(予想)：10.0円

当期の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、年20.0円に増配



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています（分割前の配当金は遡及修正して表示）

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

TEL (本社) 0268(80)0058

TEL (東京) 03(3442)5035

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。